



広報

まつやま

主な内容

- 平成24年度 市・県民税が変わります…2面
- 人権特集 ……4面
- 「第46回規顕彰全国俳句大会」…5面
- 「第29回規顕彰全国短歌大会」
- 市民ガイド ……6・7面

発行:松山市役所/編集:総合政策部広報課/毎月1日・15日 ☎948-6705 FAX 934-2578 HP http://www.city.matsuyama.ehime.jp/

市勢 平成23年11月1日現在推計(前月比) ●面積:429.05km² ●人口:516,270人(-58) ●男:241,420人 ●女:274,850人 ●世帯数:229,939世帯(-19) ●一世帯の平均:2.25人 ●人口密度:1,203人/km²



坂本屋でのお接待を受け出発

たぬきとお遍路の里を散策

久谷散策 里山の里

地元のお接待の心に触れて…笑顔に

本市が進めるまちづくり『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想のサブセンターゾーンの一つに位置付けられる久谷地区。里山の風景や遍路文化が受け継がれる久谷の魅力を感じてもらおうと11月12日、散策イベントが開催されました。

「証城寺の狸囃子」分福茶釜と並び、日本三大狸囃子の一つに数えられる「松山騒動八百八狸物語」。その物語に登場する狸の総大将「隠神刑部」を祭った祠「山口霊神」が存在するなど、古くからたぬきの里ともいわれる久谷を散策しようとして、里山散策ルート(8キ)とお遍路ルート(11キ)の

2コースに約700人が参加しました。三坂峠ドライブイン跡を出発したお遍路ルートの参加者は軽やかな足取りで、お遍路さんの休憩所である「坂本屋」や弘法大師ゆかりの巨石「網掛け石」などを巡りました。また里山散策ルートは、荏原城跡や国指定重要文化財の



里山の自然を肌で感じながら歩く



地元の小学生もお接待



創作歌舞伎舞踊 伊予八百八狸を披露

渡部家住宅などを巡り、2つのコースの合流地点では、散策の疲れを癒やしてもらおうと、地元の人らが創作伝承料理の「くたに華甘酒」を振る舞いました。お接待を受けた参加者は元気を取り戻し、四国霊場第46・47番札所の浄瑠璃寺、八坂寺などを散策しな

参加者の声

ゆっくり里山の景色を楽しみながら歩きました。休憩ポイントでの地元の人のお接待がとてもうれしかったです。



高橋 博さん・絹枝さん (北土居二丁目)

地元の声

多くの人に里山の自然とお接待の文化、そして人情に触れていただき、この素晴らしい場所を何度も訪れてほしいです。



久谷大黒座運営委員会 顧問 松本 三郎さん

からゴールを目指しました。そのほか地域活性化の拠点として平成18年に修復された「大黒座」では、伊予八百八狸保存会による創作歌舞伎舞踊や大黒座コーラスによる歌

の披露などが行われました。心のこもったおもてなしを受けた参加者は、久谷の地域資源・文化を生かし続ける住民のまちづくりへの熱い思いを肌で感じていました。

まつやまお城下ウォーク

『坂の上の雲』のまちを散策

小説『坂の上の雲』ゆかりの地などを訪ね歩き、まちの魅力を感じる「まつやまお城下ウォーク」が10月29日に開催されました。



ロシア人墓地を訪れた参加者

「お城の北には何がある？」と題して行われたウォークイベントには、約2300人が参加。ロシア人墓地や種田山頭火が晩年を過ごした一草庵などを巡る約8キロを歩きました。参加者はコース途中に設けられた郷土の歴史に関するクイズラリーに挑戦したほか、松山大学御幸キャンパスで行われたタレント森脇健児さんらによるトークショーなどを楽しみました。ロシア人墓地の清掃活動を

秋の松山を楽しみながら新発見

ロシア人墓地など知らない場所もあり、新しい発見の連続でした。また次回も参加したいです。



三好潤也さん家族(東雲町)

続ける勝山中学校からボランティアで参加した観音裕考さん(3年)は「ロシア人墓地をたくさんの人に知ってもらえてうれしいです。これからもきれいなロシア人墓地を見たいです」と話しました。

お問い合わせは、坂の上の雲まちづくりチーム ☎948 6995・FAX 934 1804へ